



标准商务日语系列丛书

标准商务

中上級ビジネス日本語(IT編)

日语IT篇

日本千駄谷日本語教育研究所 編著

宋协毅 徐艳华 主译



赠1张CD

外语教学与研究出版社



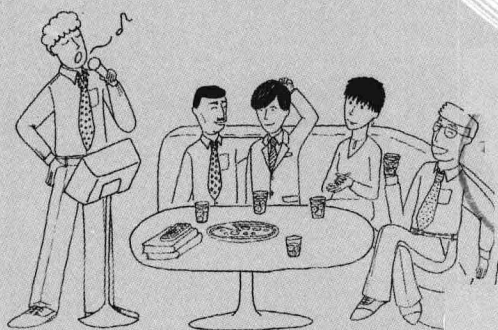
标准商务日语系列丛书

标准商务

中上級ビジネス日本語(IT編)

日语IT篇

日本千駄谷日本語教育研究所 编著
宋协毅 徐艳华 主译



外语教学与研究出版社
北京

图书在版编目(CIP)数据

标准商务日语. IT 篇 / 日本千駄谷日本語教育研究所编著; 宋协毅, 徐艳华译. — 北京: 外语教学与研究出版社, 2008.9

(标准商务日语系列丛书)

ISBN 978-7-5600-7841-0

I. 标… II. ①日… ②宋… ③徐… III. 商务—日语—教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2008) 第 149540 号

出 版 人: 于春迟

责任编辑: 刘宜欣

封面设计: 蔡 曼

版式设计: 赵 欣

出版发行: 外语教学与研究出版社

社 址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址: <http://www.fltrp.com>

印 刷: 北京新丰印刷厂

开 本: 787×1092 1/16

印 张: 18

版 次: 2008 年 10 月第 1 版 2008 年 10 月第 1 次印刷

书 号: ISBN 978-7-5600-7841-0

定 价: 45.90 元 (赠 1 张 CD)

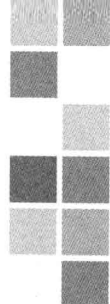
* * *

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话: (010)88817519

物料号: 178410001



编审

(日)吉岗正毅

日本千駄谷日本語教育研究所 理事长

执笔

(日)新山忠和 (日)宫下晃子

(日)古川雅子

日本千駄谷日本語教育研究所 教育研究企画室

编审(IT 相关)

(日)加藤慎吾 (日)宫下真也

日本株式会社 SJ アルピー

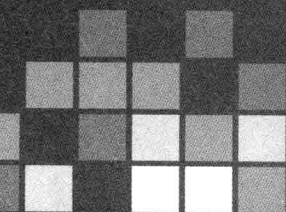
主译

宋协毅 徐艳华

译者

林乐常 冷海荣

李贞花 李志燕 蒋伊菊



はじめに

近年、社会におけるボーダレス化はいよいよ進展し、ビジネス社会においても国境を越えた人的交流が広がりを見せています。日本企業の海外進出も中国を中心に急速に展開しています。また日本国内においても、IT関連の高度技術者の需給ギャップが拡大し、中国やインドといった海外からの優秀な人材の確保が叫ばれています。

こうした中、近年一般的なビジネス場面でのいろいろなレベル、タイプの「ビジネス日本語」教材が開発されてきました。しかし、ビジネス内容が進んでくるにしたがって、ビジネス日本語に求められる内容も、より専門化し高度化していきます。

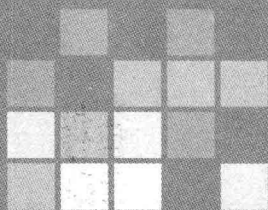
そうした背景に鑑み、今回、主にIT技術関係者を対象にした中上級レベルのビジネス日本語教材『中上級ビジネス日本語 (IT編)』を作成しました。

このテキストは千駄ヶ谷日本語教育研究所の教育研究企画室が開発を担当し、IT関連の語彙や設定された場面での適切な表現等はIT業界の第一線で活躍している方に協力していただきました。現場でコミュニケーションのトラブルになっている具体的な事例も多数このテキストの内容に盛り込まれています。

このテキストは、IT技術関係者を主な対象としていますが、日本語を母語としないビジネス関係者の方々が、日本企業で周囲の日本人と円滑なコミュニケーションを図りつつ業務が展開できるよう、日本のビジネス社会において普遍的な要素が多く盛り込まれています。

外国人の中上級レベルのビジネス日本語教材として、また、日本人の新入社員のための研修教材としても役立つものと確信しています。

2007年8月
千駄ヶ谷日本語教育研究所
理事長 吉岡 正毅



前言

近年来,随着无国界化社会的日益发展,在商务社会里,跨国界的交流更加频繁,日本企业向海外的扩展以中国为中心迅速展开。同时在日本国内,与IT相关联的超高技术人才的供求差距在逐步扩大,要求从中国、印度等海外聘请优秀人才的呼声越来越高。

在这种形势下,近年来,适用于一般商务场合的各种水平、各种类型的内容包含“商务日语”的教材不断面世。但是,随着商务内容的深入,对商务日语需求的内容也更加专业化、高级化。

鉴于这样的背景,这次我们编写了以IT技术相关人员为主要对象的中高级水平的商务日语教材《标准商务日语IT篇》。

本教材由日本千駄谷日本語教育研究所教育研究企画室负责编写,书中与IT相关的词汇以及特定场景的恰当表达方式得到了活跃在IT行业第一线员工的大力协助。此外,还提供了在实际工作中易产生交流障碍的许多具体的案例。

本教材主要面向与IT技术相关的人员,但是为使日语不是母语的商务工作者在日本企业能和周围的日本人顺利沟通从而开展业务,本教材还提供了许多日本商务界里普遍存在的实例。

我坚信本教材作为外国人使用的一部中高级水平的商务日语教材,同时作为日本人新职员的一部研修教材,会起到很大的作用。

2007年8月

千駄谷日本語教育研究所

理事长 吉冈 正毅



周知の通り、グローバル化社会の進展に従い、中国を含む世界の日本語教育が新しい段階に入っております。中国における日本語教育は五十年以上の模索を経て、特に1980年代からの改革開放政策の実施によって、その質と量の面で益々世界各国の日本語教育の先端を走る勢いで発展しております。そして、日本言語文化、日本文学などいわゆる「伝統」的な日本語教育を行わう一方、日本の政治・経済・社会・科学技術などいわば「実学」的な日本語教育を進めている大学や各種教育機関も増えております。しかし、日本への留学ブームが続き、日系企業の中国進出が加速する一方で、今や中国においては、もはや旧来の日本語教育では社会の求人ニーズに間に合うような人材育成がとても出来ない時代となり、いわゆる複合型、マルチ型の日本語人材が社会から求められる時代となっております。

通常、大学や各種教育機関の学生たちの日本語能力を評価する時に、その学生の学校における成績が当然参考にされますが、しかし、何時しか、重要な評価手段の一つとして、日本語能力試験（JLPT）の成績が最も重要視されるようになりました。ところが、最近、日本語能力試験の試験問題は語学・文学・文化などに偏り、実学的日本語にそぐわないという声が上がリ、ビジネス日本語能力試験（BJT）やいくつかのテストが脚光を浴びるようになったわけです。要するにその背後には社会的に求められる複合型日本語人材への需要が大いにあるからです。

このように国際化が急速に進む昨今では、当然ながら日本語教育にも新しい課題が次々と出されています。日本国内での日本人教師による日本語教育と海外での外国人教師による日本語教育とでは、学習の環境と条件が異なる分だけに、その使用する教材も違うはずであり、また大学院に進学して研究者になるための学習者と日系企業に入って日本語を道具にしてビジネスの世界で勝負したい学習者がおり、その場その場の教育事情に合うような教授法や教材開発が計画的になされるべきだと思います。嬉しいことに、今はそのような時代の息吹を感じさせる教授法と教材の開発が着々と進んでおり、中国の日本語教育は学問と実学の二本立てで支えるバランスの取れた体制になりつつあります。

その中で、日本国千駄ヶ谷日本語教育研究所が編集した『中上級ビジネス日本語（IT編）』はまさに時代とともに進む試みです。ビジネス日本語能力試験の受験を念頭に置かれ、IT業界のベテランが協力してくださり、仕事の現場でのコミュニケーションのトラブルの実例も多数紹介されております。IT現場で使われる実学的な日本語を学習させるというところが特に評価されるべきだと思います。

北京外研社の薛豹先生のご好意で本教科書の翻訳出版が決まり、この場を借りて感謝致します。そして、本書のレイアウトに関しても、使用者は大学で日本語を勉強する学生に限定せずに、日系企業の社員やこれから独学してでも日系企業へ入りたい学習者などをも視野に入れて、日本語の本文と中国語の訳文の対訳版にするという翻訳者側の提案を快く受け入れてくださったことに対し、改めて感謝致します。

本教科書は中国のビジネス日本語教育の向上に貢献できることを期待しております。

翻訳者代表 宋 協毅 識

2008年4月吉日

众所周知,随着全球化社会的发展,包括中国在内的世界各国的日语教育已进入一个崭新的阶段。中国的日语教育经过50多年的摸索,尤其是上世纪80年代实施改革开放政策之后蓬勃发展,在质与量的两方面均处于世界日语教育的前列。而且,中国的大学及各种教育机构一方面进行着日本语言、文化、文学等所谓“传统型”日语教育,另一方面,尝试进行日本政治、经济、社会、科学技术等所谓“应用型”日语教育的大学及机构也在不断增多。但是,由于赴日留学方兴未艾,日资企业对华投资不断加速,所以如今在中国,依靠传统的日语教育已经无法满足社会各界对日语人才的需要了。我们的社会需要的是大量的复合型日语人才。

通常,大学以及各种教育机构评价学生们的日语能力时,当然要参考学生们在学校的成绩。但是,不知何时开始,日语能力考试(JLPT)的成绩已成为社会最为重视的评价手段之一了。不过,近来人们开始认识到日语能力考试的考题有些偏重于语言学、文学和文化方面,而与培养“应用型”日语人才的目的不相适应。因此,商务日语能力考试(BJT)以及若干其他考试开始受到人们的注目。也就是说,这些变化都是以社会需要大量复合型日语人才为背景的。

如今国际化飞速发展,当然也给日语教育带来了许多新的课题。在日本国内由日本人教师进行的日语教育和在海外由外国人教师所进行的日语教育,由于学习环境和条件不同,所使用的教材也应该不同。学生中有为考取硕士、博士成为研究人员而学习的,也有希望进入日资企业,把日语当作工具而在商海打拼的。因而应该有计划地开发、研究与学生的学习目的相适应的教学法和教材。令人欣慰的是,人们正在开发研究使人感受到时代气息的教学法和教材,而且,中国的日语教育正在形成“学问”与“应用”有机结合——双管齐下的教学科研体系。

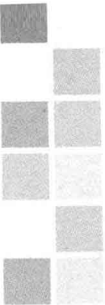
在这种情况下,由日本千駄谷日语教育研究所编写的《标准商务日语IT篇》正可谓与时俱进的大胆尝试。该教材以学习者将参加商务日语能力考试为前提,并且请IT行业的专家参与编写,同时介绍了大量工作现场出现的交流障碍的实例。这种让学生学习IT产业现场使用的实用日语这一点,是值得高度评价的。

本教材在北京外研社薛豹先生的支持下得以翻译出版,借此机会深表感谢。在本书版面设计上,我们认为不仅要考虑大学日语专业的学生,而且应把日资企业的员工或者希望通过自学而进入日资企业工作的自学者等纳入视野,因此希望把本书设计成日文和中文的对开版,出版社痛快地采纳了我们的建议,再次表示感谢。

希望本教材能为中国商务日语教育的提高做出贡献。

译者代表 宋协毅 识

2008年4月吉日



本書の特徴 と使い方



本書が対象とする学習者

本書は、中級から上級の日本語学習者を対象としている。

中級の学習者については、翻訳部分も効果的に使い、表現面の定着を図り、ロールプレイ等の練習を通じて、ビジネスの現場で役立つ日本語の運用力を身につけさせることができる。

また、上級レベルの学習者にとっても、日本企業のビジネス文化についての理解を深めながら、実践的な運用力を身につけていくことができる。

本書は、日本のIT企業を舞台としたストーリー形式で進行していくが、広く一般の日系企業にも通ずるビジネス文化を取り入れているため、日系IT企業はもとより、その他の日本企業への就職を希望している学習者にとっても好適な一冊となるであろう。



本書の目標水準

ビジネス日本語能力試験（BJT）のJ3～J2水準。

- 日常のビジネス会話の簡単なものが概ね理解できる。
- 会議、商談、電話での対応などで、相手の話すことがある程度理解できる。
- 対人関係に応じた言語表現の使い分けがある程度できる。
- 日本のビジネス慣習に対する理解がある程度ある。



主な構成と想定する学習時間

全体は12課で構成されている。

主人公である中国人プログラマー孫輝（スン・フィ）が、採用面接を受けて日本のIT企業に入社し、日本人を中心とした周囲のスタッフとの業務を通して成長していくストーリー形式で展開されており、学習者が実際に日本のIT企業での日常を疑似体験しつつ学べるよう配慮されている。通常、新人プログラマーは社内勤務が中心となることに鑑み、社内会話におけるコミュニケーションを中心にすえ、終わりに近い課で、顧客とのコミュニケーションに発展させている。

本書ではIT関連の専門用語や状況も扱っているが、IT技術を学ぶためのものではない。あくまで、日本語を母語としないビジネス関係者が、周囲の日本人スタッフなどと円滑なコミュニケーションを図れるよう導くためのものである。

本書の編纂には、第一線で活躍するIT企業関係者の協力も得て、現場の状況や、文化的な違いから問題となる現象もできるだけ取り入れた。これにより、日本語表

現だけではなく、日本の企業文化や仕事の進め方についても理解が深められるようになっている。

現実的で自然な流れを重視したため、課のボリュームには多少のばらつきがあるが、クラス授業として行った場合、各課平均で8時間程度、全体で100時間程度の学習時間を目安としている。



各課の構成と使い方

サブタイトル

課のタイトルの下に、その課の狙いをサブタイトルとして入れた。その課の学習に入る前に、学習者にも注目させておくとよい。

はじめに

その課の狙いや、取り上げる内容とその背景について触れてある。各課の最初に、「サブタイトル」と併せて確認しておきたい。

中級前半までの学習者については、翻訳文を通して理解させればよいが、中級後半から上級の学習者については、日本語のまま読ませていくとよい。

会 話

メインとなる会話。場面や状況に配慮し、複数の会話に分割してある課もある。上級の学習者であれば、「サブタイトル」、「はじめに」の後で、まず聞かせることもできるが、「この課のポイント」を一通り押さえた後、「会話」に移ったほうが、理解は深まるだろう。はじめは、簡単な状況設定の後、テキストは見せず、音声聞かせ、教師からの内容質問を通して状況を把握させた後、新出語や表現の理解と運用力の増強を図り、更に文化的な理解を深めていくとよい。学習者のレベルや状況に合わせて、会話の練習や内容の要約等に発展させるとよい。

また、CDでは、IT用語など業界でよく使われている用語を実際の場面においても理解できるように、IT業界関係者が発話する場面では、現場の使い方やアクセントを参考にしている。なお、CD音声の収録には、業界関係者も参加している。

この課のポイント

本書は、機能シラバスと場面シラバスを軸としており、下記の通り、各課に主な言語機能が配されている。

- 第1課 … 自己紹介する
- 第2課 … あいづちを打つ、挨拶する
- 第3課 … わびる、指示（する・受ける）
- 第4課 … 電話（かける・受ける）
- 第5課 … 質問する
- 第6課 … 不明点を確認する
- 第7課 … 勧誘（する・受ける・断る）、感謝する
- 第8課 … 意見交換（聞く・述べる・賛成する・反対する）
- 第9課 … 事情説明をする、釈明する、依頼（する・受ける・断る）
禁止の依頼（する・受ける・断る）、許可を求める、許可（する・しない）
- 第10課 … 申し出（する・受ける・断る）
- 第11課 … ウチとソト
- 第12課 … 謙遜する

「この課のポイント」では、こうした言語機能について、簡単な解説と例文を通して、理解が深まるよう配慮してある。例文については漢字語句にはルビを振ってある。その他、課ごとの内容に関わるビジネス文化的なことも適宜まとめている。授業では、「サブタイトル」、「はじめに」で課の狙いを押さえた後、「この課のポイント」を取り上げ、文作り等の練習を通して運用力を高め、「会話」へ進むと効果的である。

応用練習

課の言語機能項目についての発展的な運用を図るための練習を中心とし、ロールカードの内容を踏まえてのロールプレイといった会話練習の他、筆記・聴解といったタスクワークが準備されている。各課の練習は、学習者の状況に応じて、教師の任意で更に補充し、実践的コミュニケーション能力の強化を図ることが望ましい。

なお、ロールプレイについては、談話構成能力の強化のため、練習の前に「会話の流れ」が配置してある（効果に配慮して、「この課のポイント」に配置してある課もある）。

まず「会話の流れ」についての理解を促し、「会話例」で流れを確認し、口頭練習をするとうい。

そして、「会話の切り出し」といった項目だけを板書するなどして、それに沿ってロールプレイの練習をさせるようにすると、談話構成能力も身につくだろう。大切なのは、いきなり本題に入るのではなく、流れを踏まえて自然な会話ができるように導くことである。

語彙

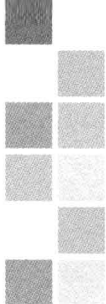
「タイトル」、「サブタイトル」、「会話」、「この課のポイント」、「応用練習」部分の新出語が提出順に載せてある。漢字語句とローマ字語句には読み方が示してある他、適宜用例も付した。訳を見て意味を理解するだけでなく、運用できるよう定着させることが望ましい。

コラム

課の取り上げ項目に沿って、企業文化や一般的情報をコラムとして短くまとめている。課が進むにつれて、文章の長さ、内容の深さが増すようにしてある。上級レベルの学習者については、読み物教材として使用してもよい。中級レベルの学習者については、翻訳文を読ませて、理解を深めさせたり、意見交換の素材として使ったりできる。

巻末資料

第5課の応用練習のための「プロジェクト概要書」、「開発手順フロー」、「体制図」、「工程表」の他、第12課の応用練習部分のスクリプトなどをまとめている。特に、書類については、現場で目にすることもあろうから、理解を深めておきたい。



本教材的特点 和使用方法



本教材的适用对象

本教材适用于从中级到高级的日语学习者。

对于中级水平的学习者来说,可以有效地利用翻译部分,力求掌握固定的表达方式,多做模拟演练等练习,就能够具备在商务现场发挥作用的日语运用能力。

另外,对于高级水平的学习者来说,在加深对日本的企业文化理解的同时,还能掌握实际的运用能力。

本教材把日本的IT企业作为舞台,以故事的形式推进。因为广泛吸收了一般日本的企业文化,不必说日系IT企业,即使对希望去其他日本企业就职的学习者来说,也是一本很适用的教材。



本教材的目标水平

商务日语能力考试(BJT)达到J3~J2水平。

- 基本能理解日常商务会话的简单内容。
- 在会议、洽谈、电话应答等情况中,在某种程度上能够理解对方讲的内容。
- 在某种程度上能区别使用与人际关系相称的语言表达方式。
- 对日本的商务习惯有一定程度的理解。



主要的构成和预计的学习时间

全书由12课构成。

本书通过主人公中国程序设计员孙辉接受录用面试进入日本的IT企业,在跟周围以日本人为主的职员一同工作而不断成长这一故事形式展开。同时也考虑到让学习者一边模拟体验实际在日本IT企业工作时的日常情况,一边学习。一般情况下,鉴于新的程序设计员以公司内部工作为中心,所以把重心放在以公司内的交流为主,到课程快结束时,才发展到与客户的交流上。

本教材也涉及到与IT行业相关的专业术语以及场景等,但本教材编写的目的不是为了学习IT技术,而是为了引导母语不是日语的商务工作者能与周围的日本职员等人进行顺利的沟通与交流。

本教材在编写过程中,得到了活跃在IT企业第一线有关人员的大力协助,尽

可能地将工作现场的情景、因文化差异而造成的问题纳入其中。因此,通过本书的学习不仅能掌握日语的表达方式,同时还能加深对日本企业文化和工作进程的理解。

因为重视现实性、连贯性,每课的分量多少有些不同。课堂教学时,每课平均用时为8小时左右,总体的学习时间以100个小时左右为宜。



各课的构成和使用方法

副标题

在每课的标题下面都有一个副标题,用以提示本课重点。在学习每课之前,让学习者事先给予关注。

导读

提示各课的重点、涉及的内容及其背景。最初开始学习各课时,最好和副标题一起确认。

对学习中级前半部分的学习者,让他们通过翻译文章来加深理解为好;对中级后半部分到高级阶段的学习者,让他们直接阅读日语为好。

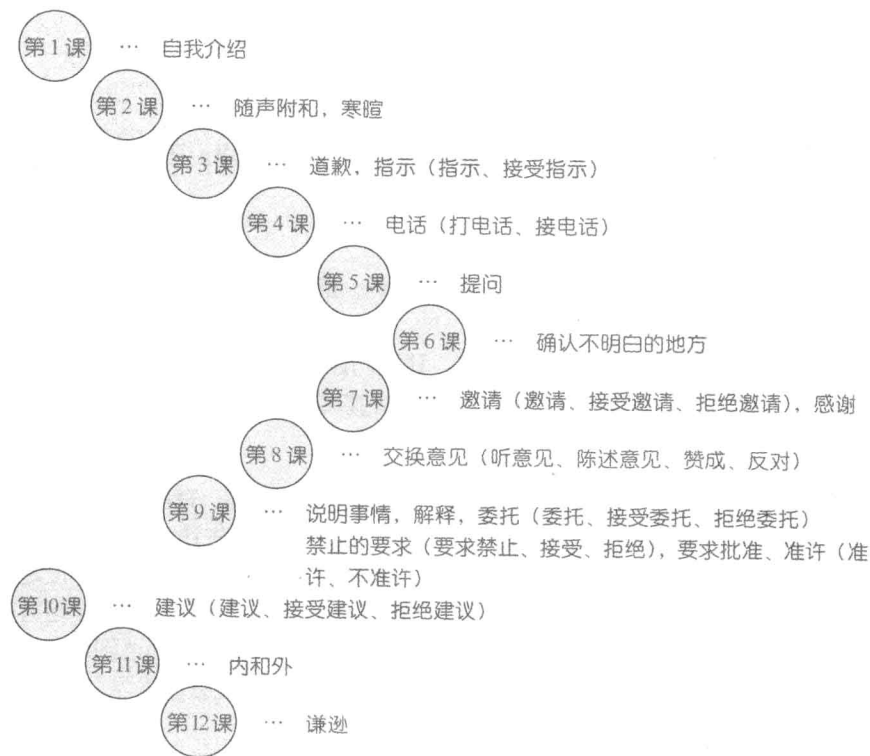
会话

会话是每课的核心部分。考虑到现实场景和实际情况,有些课分成几段会话。如果是高级学习者,在副标题导读之后,可以先让他们听录音。把本课重点基本理解后,再进入到会话,这样才会加深理解。开始时,设定简单的情景后,不让学习者看教科书,而是先听录音,通过教师的提问使学习者掌握情景,以求对新单词、表达方式的理解和运用能力的增强,进而达到对文化的深入理解。根据学习者的水平和情况,可以适当地另做一些会话练习、内容归纳等。

另外,为了在实际的场景里也能理解业界经常使用的IT专业术语等,在CD里,有关IT行业相关人员讲话的场景,参考了现场的真实会话和语调。业界的相关人员也参加了CD的录音。

本课重点

本书以功能提要和场面提要为主线,各课设置了主要的语言功能,现介绍如下。



在 **本课重点** 里, 我们考虑到了通过简单的解说和例句来加深对上述这些语言功能的理解。例句中的汉字词语都标注了假名。此外还将与每课内容相关的商务文化做了适当的归纳。课堂上, 利用 **副标题** **导读** 掌握了本课要点之后, 再解决 **本课重点**, 通过造句等练习提高运用能力, 然后进入 **会话** 阶段, 这样效果更好。

应用练习

根据各课的语言功能项目，以练习为主，力求举一反三，依据角色卡的内容进行模拟演练。除了这种会话练习之外，还准备了笔试、听力的练习。希望指导教师根据学习者的情况对每课的练习自主地进行补充，以达到强化实践交流能力的目的。

关于模拟演练，为了强化语言组织能力，在练习部分的开头设置了“会话的流程”。（考虑到效果，有的课把它放在（本课重点）里。）

首先可通过“会话的流程”加强理解，通过“会话例”确认进程，然后再做口头练习。

其次只将“会话开始”板书，然后，按照板书内容让学习者做模拟练习，这样才能使学习者更好地掌握。重要的是，不要突然进入主题，要引导学习者顺着流程有条理地进行会话。

单词

（标题）（副标题）（会话）（本课重点）（应用练习）部分的新单词，按照出现的先后顺序排在了（单词）中。汉字词语和罗马字词语除读音外，还适当地添加了用例。希望学习者不仅是看中文译文理解意思，还要做到能灵活运用。

专栏

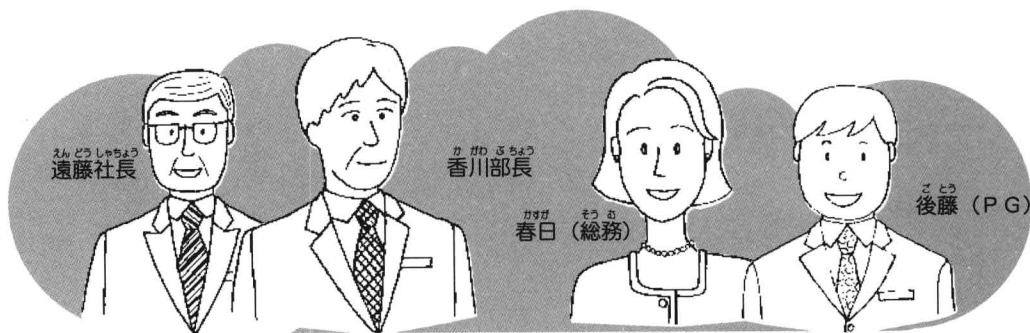
根据每课设置的项目，以专栏的形式将企业文化、一般信息做了简短的归纳。随着课程的进展，增加了文章的长度和内容的深度。对高级水平的学习者来说，也可将其作为阅读教材使用。对中级水平的学习者，可以让他们阅读译文，加深理解，或以此为素材交换意见。

附录资料

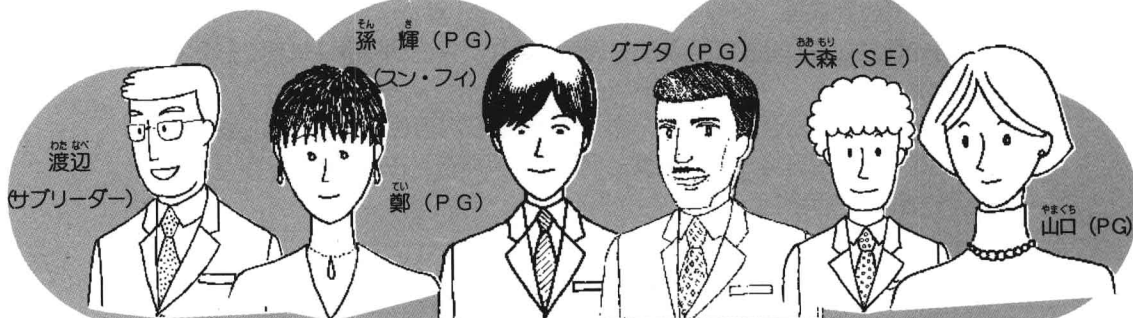
除了为第5课的应用练习准备了“项目概要书”“开发顺序流程”“结构图”“工程表”以外，还将第12课应用练习部分的CD内容等整理成文字。特别是相关资料，在实际的工作中可能会见到，希望能加深了解。

登場人物

かぶ しき がい しゃ
SJIシステム株式会社



りょ こう けん さく
おすすめ旅行検索サブシステム
プロジェクト要員



ご たい りく
五大陸トラベル
株式会社

